

1) 概要

尼崎臨海地域の魅力と活力ある
尼崎21世紀の森構想エリアに向けて

尼崎21世紀の森構想は、平成14年に策定され、これまでに尼崎臨海地域の「環境改善」と「都市再生」に向けて、様々な取組みを進めて参りましたが、近年、SDGsの推進や脱炭素社会の実現に向けた取組みなど「環境分野」への関心は一層の高まりを見せています。

そこで、次世代に向けて、令和6年5月から尼崎臨海地域の企業が情報交換を行い、連携を図る場として「企業版森の会議」を月1回程度、開催しています。今年度は「環境学習」をテーマに、尼崎臨海地域の魅力を発信について考えています。

【参加企業・団体】

16社（五十音順）
 尼崎信用金庫 / 尼崎商工会議所 / アマテイ(株) / AGC(株)関西工場尼崎事業所 / ESR(株) / (株)尼漁開発 / (株)香山組 / (株)研文社 / 関電ファシリティーズ(株) / 神鋼鋼線工業(株) / 生活協同組合コープこうべ / 日本製鉄(株) 関西製鉄所 尼崎地区 / 日本山村硝子(株) / 浜田化学(株) / ひょうご環境創造協会 / 丸美化成(株)

【令和6年度の企業版森の会議のスケジュール】

期 間：令和6年5～12月 ※8月、10月はイベント開催のため会議は休み
 日 時：第3水曜日 10:00～12:00
 場 所：尼崎の森中央緑地 パークセンター 会議室
 テーマ：環境学習

2) 各回の内容

第1回 (5月15日)

テーマ 企業版森の会議では何を指して、何をするとところなのか？

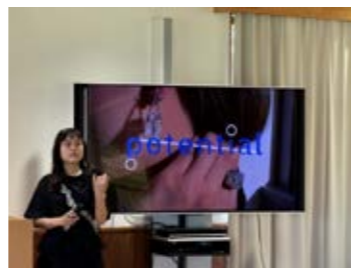
- 内容
- ・ 自己紹介
 - ・ 企業版森の会議についての説明
 - ・ 尼崎の森中央緑地パークセンター、あまがさき環境オープンカレッジの環境学習の取組み紹介



第2回 (6月19日)

テーマ 環境学習フォーラムへの参加内容を具体化させる

- 内容
- ・ 環境学習フォーラムの当日の詳細について説明
 - ・ 環境学習フォーラムの企画の具体的な内容について、グループに分かれて話し合い



第3回 (7月17日)

テーマ 環境学習フォーラムへの参加について考える

- 内容
- ・ 環境学習フォーラムの説明
 - ・ 各社の環境学習フォーラムへの関わり方の共有
 - ・ ゲストスピーカー potential の速水氏による廃材の活用に関する取組み紹介
 - ・ 環境学習フォーラムへの出展企画に関する検討



イベントへの参画 (8月9日)

イベント名
 尼崎森と運河の発表会
 ～環境学習フォーラム2024～

- 内容
- ・ 資料4-2を参照

第4回 (9月18日)

テーマ 環境学習フォーラムの振り返り、尼崎21世紀の森構想エリアの魅力発信について検討

- 内容
- ・ 環境学習フォーラムのふりかえり
 - ・ 「環境学習フォーラムの感想」や「尼崎21世紀の森構想エリアの魅力発信に向けた、今後の企業版森の会議の企画」についてグループに分かれて話し合い



イベントへの参画 (10月5日)

イベント名
 尼崎運河魅力アップ事業
 クルーズで運河大発見！！

- 内容
- ・ 8月9日の環境学フォーラムにて企画、出展した模型を用いたクイズを出展

[予定] 第5回 (11月20日)

テーマ
 尼崎21世紀の森構想について考える

- 内容
- ・ 今年度の企業版森の会議の振り返り
 - ・ 尼崎21世紀の森構想の内容について意見交換

[予定] 第6回 (12月18日)

テーマ
 今後の企業版森の会議について話し合う

- 内容
- ・ 協議会業務として行った学校ニーズ調査の結果紹介
 - ・ 次年度の企業版森の会議の内容について事務局で検討したものを紹介

2. 環境学習フォーラムへの参画報告

資料4-2

1) フォーラム概要

名称：尼崎森と運河の発表会～環境学習フォーラム2024～

日時：令和6年8月9日（金）12:00～16:00

場所：尼崎市立小田南生涯学習プラザ

プログラム：・尼崎の森中央緑地や尼崎運河で活動した「環境学習」の発表

・尼崎運河の生きもの観察・展示など

・企業の環境学習体験・展示など

参加企業・団体：16社

尼崎信用金庫 / 尼崎商工会議所 / アマテイ(株) / AGC(株)関西工場尼崎事業所 / ESR(株) /

(株)尼漁開発 / (株)香山組 / (株)研文社 / 関電ファシリティーズ(株) / 神鋼鋼線工業(株) / 生活協同組合コープこうべ

/ 日本製鉄(株) 関西製鉄所 尼崎地区 / 日本山村硝子(株) / 浜田化学(株) / ひょうご環境創造協会 / 丸美化成(株)

2) フォーラム参画に向けた企画検討



3) フォーラム参画内容

※環境学習フォーラムへの参画報告（各企画の実施内容）を参照

参画形態	実施内容	成果
<p>全体共同企画</p> <p>・ 全社による情報提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 尼崎 21 世紀の森構想エリアの位置と概要を示した模型 ・ 参画企業の事業内容を知ってもらうためのクイズ ・ 尼崎 21 世紀の森構想エリアの今と昔の変化を学べるパズル <p>模型クイズ パズル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 尼崎 21 世紀の森構想エリアでは、森と海・運河と企業活動が共生していることを表し、共有することができた。
<p>共同企画</p> <p>・ 複数企業による企画 ・ 複数企業による材料提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資材や廃材等を持ち寄った工作 ・ 資材や廃材等を持ち寄った釣り掘りゲーム <p>工作 釣り掘りゲーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1つの企画を複数の企業で協働して作り上げ、森と海、企業による連携ができた。
<p>各社持ち寄り企画</p> <p>・ 各企業による企画 ・ 部屋での連携企画 ・ 協賛品の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各企業の製品や素材を扱った展示や体験など ・ 出展ブースを訪れると企業のノベルティをゲットできるシールラリー <p>製品展示やクイズゲーム シールラリー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの企業が企画を持ち寄り出展したことで、多くの方に尼崎臨海地域の企業の取組みを効果的に発信することができた。
<p>広報</p> <p>・ 複数企業による情報発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ インスタグラム等 SNS を用いたフォーラムの情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの企業が関わることで、多方面からフォーラムの情報を発信することができた。

4) 新たな取組みの展開

※環境学習フォーラムへの参画報告（環境学習フォーラム参画企業へのアンケート結果）を参照

芽生え これまで（第1回～3回企業版森の会議やフォーラム）

- フォーラムの来場者が企業の事業内容や環境の取組みに興味を示されていた。
→ 今後、より多くの人に企業の活動に興味を持ってもらえる可能性がある。
- 互いの企業の展示方法の工夫を参考にすることができた。
→ 今後、より魅力的に企業活動を伝えていける可能性がある。
- 企業同士また一般市民等との情報交換や連携ができた。
 - ◇ 他の企業ブースを訪れ合い、企業間で交流することができた。
 - ◇ 異業種の企業のコラボレーションが生まれた。
 - ・ 廃材等を使った工作（株）香山組、（株）研文社、丸美化成(株)、尼崎の森中央緑地
 - ・ 廃材等を使った釣り掘りゲーム（尼崎信用金庫、（株）尼漁開発、（株）香山組、日本製鉄(株)）
 - ・ ガラス会社クイズ（AGC(株)、日本山村硝子(株)）
 - ・ 製品クイズ（神鋼鋼線工業(株)、（株）研文社）
 - ・ 物流企業の協働企画の検討（ESR(株)、関電ファシリティーズ(株)）
 - ・ 模型クイズ（16社）、シールラリー（8社）
 - ◇ 参画企業と来場者（教員）との情報交換ができた。
 → 今後、企業同士また一般市民等との連携を推進していける可能性がある。

芽生えをはぐくむ（今後考えられる展開案） これから（第4回以降の企業版森の会議）

- 行政・企業・団体・住民の連携の輪を広げる
 - ◇ 新たなコラボレーション（主体間をつなげる）のサポート
 - ◇ 新たな参画企業の呼びかけ
 - ◇ 住民の方にも参加いただける活動の創出（子どもたちとブース出展の企画など）
- 広報の強化
 - ◇ 尼崎 21 世紀の森構想エリアでの活動についてより多くの人に認知してもらうための取組みの実施（広報戦略の検討、企業の取組みをPRできる場の創出など）

魅力と活力のある尼崎 21 世紀の森構想エリアへ

2. 環境学習フォーラムへの参画報告(各企画の実施内容)

1) 全体共同企画

全体共同企画①: ジオラマクイズコーナー

【企画概要】

尼崎 21 世紀の森構想エリアの環境を表した模型に、企業版森の会議に参加されている企業が、どのような事業内容や環境に関する取り組みを行っているのか記載されている旗を置いて表現した。

クイズシートを作成し、それぞれの企業がどのような取り組みをしているのか、クイズを通して知ってもらうことができた。

【参画企業】

各社の事業内容や環境に関する取り組み内容の情報提供：企業版森の会議に参加されている全企業
模型を置く土台（ESP ブロック）の提供：(株)香山組



尼崎 21 世紀の森構想エリアの環境を表した模型



旗に記載した各社の取り組みをヒントにクイズに挑戦！



クイズシート

全体共同企画②: 今昔パズルコーナー

【企画概要】

尼崎 21 世紀の森構想エリアの昔と今の写真を用いたパズルを作成し、どのように環境が変化してきたのか、現在、どのような企業があるのかをパズルを通して知ってもらうことができた。

【参画企業】

各社の事業内容や環境に関する取り組み内容の情報提供：企業版森の会議に参加されている全企業



今の尼崎臨海地域のパズル



昔の尼崎臨海地域のパズル

2) 共同企画

共同企画①: みんなであつまり尼崎の森をつくろうのへや

【企画概要】

各企業の資材や廃材を持ち寄り、木に見立てたオブジェ（ESP ブロックで作製）に、参加者が尼崎の森中央緑地の枝や葉っぱや、折り紙で作った生きものを貼付け、木を完成させる工作を行い、捨てられるものの活用について遊びながら学んでもらうことができた。

【参画企業】

企画、材料提供・作製：尼崎の森中央緑地、(株)香山組、(株)研文社、丸美化成(株)



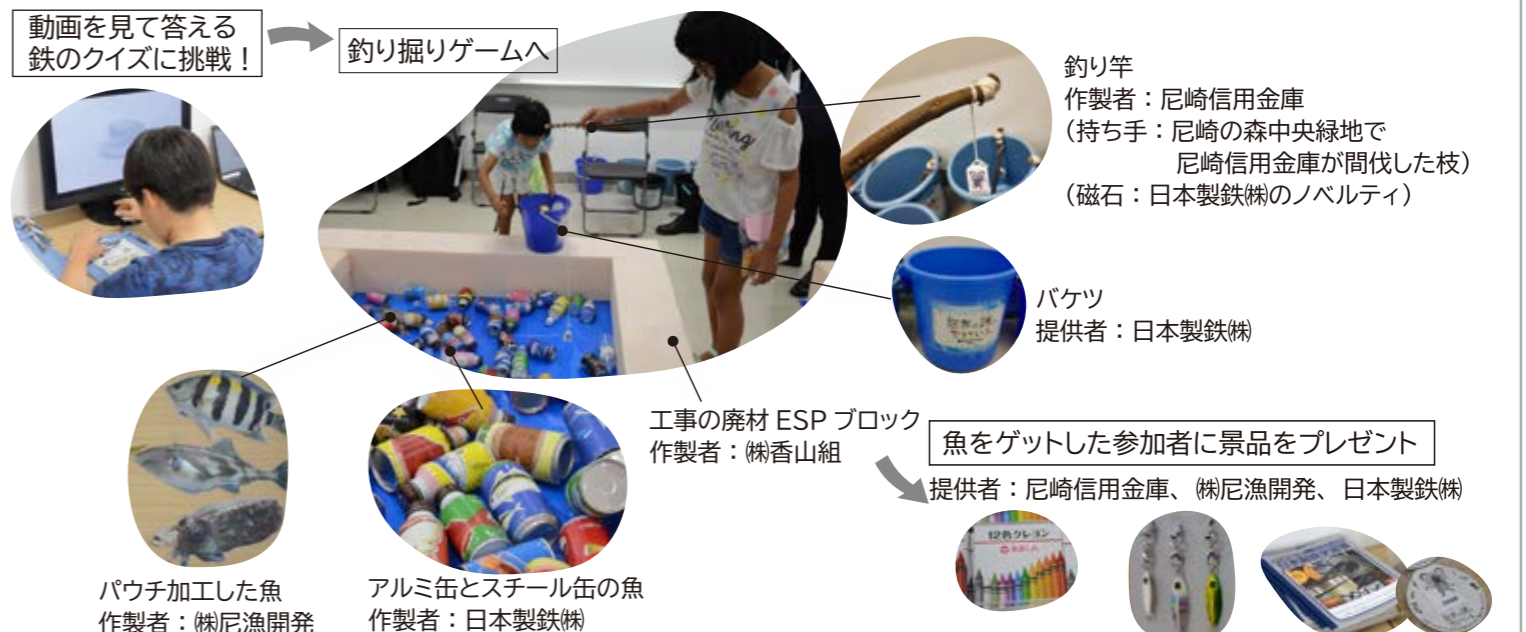
共同企画②: エコ・フィッシング・キャッチャーのへや

【企画概要】

各企業の資材や廃材を持ち寄り、スチール缶が環境にやさしい素材であることや、尼崎の海に生息する魚のことなどについて、釣り堀ゲームや各社の展示・動画などを通して学んでもらうことができた。

【参画企業】

企画、材料提供・作製：尼崎信用金庫、(株)尼漁開発、(株)香山組、日本製鉄(株) 関西製鉄所 尼崎地区
運営：尼崎信用金庫、(株)香山組、日本製鉄(株) 関西製鉄所 尼崎地区



共同企画③：ガラス会社クイズ

【企画概要】

ガラス会社2社の特徴を答えるクイズを作製し、来場者に企業のことを知ってもらいきっかけになった。

【参画企業】

情報提供：AGC (株)関西工場尼崎事業所、日本山村硝子(株)



共同企画④：製品クイズ

【企画概要】

神鋼鋼線工業(株)の製品について学べるクイズシートを(株)研文社と共同で作製。ゲームを通して製品について知ってもらうことができた。

【参画企業】

企画、作製：(株)研文社、神鋼鋼線工業(株)



3) 各社持ち寄り企画

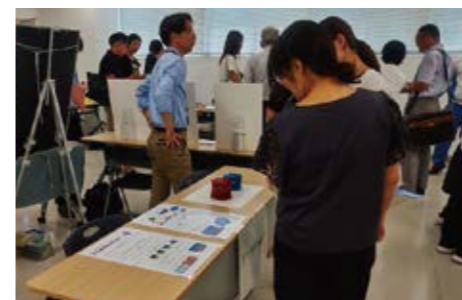
各社持ち寄り企画 (部屋①) : ヘエ～そうなんだ! 知らんけど・・・のへや

【企画概要】

各社の製品や素材の展示やワークショップ、環境に関する取り組みの展示などを各社が企画・出展。より多くの出展ブースに訪れてもらうため、各社提供のノベルティを景品として、シールラリーを実施した。約100名の方がシールラリーに参加し、多くの企業の取り組みを知ってもらうことができた。

【参画企業】

企画、運営：尼崎商工会議所、アマテイ(株)、AGC (株)関西工場尼崎事業所、(株)研文社、神鋼鋼線工業(株)、生活協同組合コープこうべ、日本山村硝子(株)、浜田化学(株)、ひょうご環境創造協会、丸美化成(株)



アマテイ(株)



AGC (株)



(株)研文社



神鋼鋼線工業(株)



生活協同組合コープこうべ



日本山村硝子(株)



浜田化学(株)



ひょうご環境創造協会



丸美化成(株)

<シールラリー>



シールラリー運営：日本山村硝子(株)



ノベルティ提供者：AGC (株)、神鋼鋼線工業(株)、生活協同組合コープこうべ、日本山村硝子(株)、ひょうご環境創造協会

各社持ち寄り企画（部屋②）：しごとけんがくのへや

【企画概要】

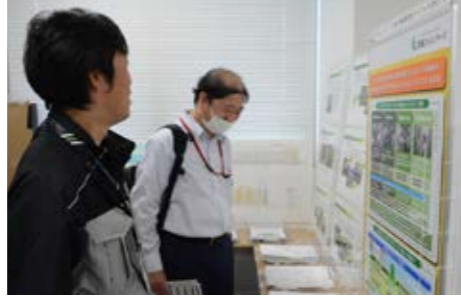
企業の仕事内容や、職場の様子をVRや映像などを用いて、より具体的に知ってもらうことができた。

【参画企業】

企画、運営：ESR(株)、(株)香山組、関電ファシリティーズ(株)



ESR(株)



関電ファシリティーズ(株)



(株)香山組

各社持ち寄り企画（部屋③）：肥料づくりのへや

【企画概要】

尼崎の海で釣れる魚の骨やあらを使った肥料づくりを通して、海の資源を陸の資源へと生まれ変わらせる循環のしくみを学んでもらうことができた。

【参画企業】

企画、運営：(株)尼漁開発



魚の骨やあら



肥料づくり

2.環境学習フォーラムへの参画報告（環境学習フォーラム参画企業のアンケート結果）

1) フォーラムに対する意見や感想

企業版森の会議に参加の企業から、フォーラムへ参画したことで良かったことや課題・改善策、提案などの意見をいただき、主に、下記6つの意見が見られました。

（良かったこと） 企業の取組みを発信できた、他の企業・団体の取組みを知ることができた、異業種の企業とのコラボレーションができた

（課題・改善策） 広報の強化、会場の大きさの改善

（提案） 今後イベントをする際の提案

		具体的な意見
良かったこと	企業の取組みを発信できた	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の存在は知っていたけど中がどのように使われているのか知らなかったという声が多く当社としては物件や会社としてのアピールができたので良かったです。 ・普段接する機会が少ない年齢層の子どもへ、会社の事を知ってもらう良いきっかけとなった。 ・サステナブルな活動の重要性を年齢層が違う子どもたちへ伝えることができ有意義な機会を頂戴しました。 ・組合員の活動発表の場を提供いただけた。 ・弊社製品は分かりにくいものであるにも関わらず、興味をお持ち頂いた事が多く、少し驚きました。
	他の企業・団体の取組みを知ることができた	<ul style="list-style-type: none"> ・参画の仕方が難しい内容でしたが、企業の皆さんの環境への熱心な取り組みは非常に興味深いものでした。 ・実際に参加をしてみた感想ですが、小学生がお越しになる割合が多かったと感じました。当社のブースが小学生向けではなかったのであまり興味を持ってもらえず、次回機会があれば子供も一緒に勉強できて楽しめるコンテンツに変更していきたいと思えます。 ・若い世代の学習発表を聞く貴重な機会となり教育の場でも、色んな取組みがされていて、気付きとなる部分が多かったです。 ・他企業様の素晴らしい取り組みを知ることができた。 ・多く来場者さんが来られた事もあり、あまりブースを離れる機会がなく、他の部屋の様子をあまり覗きに行けなかったのが残念でした。 ・他の参加企業様の展示方法や展示品は、それぞれ工夫されている事があり非常に参考になりました。
	異業種の企業とのコラボレーションができた	<ul style="list-style-type: none"> ・企業版森の会議に参加されている企業様と連携しながら環境学習に取り組むことができたため、新たな取り組みとして大変参考になりました。 ・異業種の企業とコラボレーションし、当日まで打合せを重ね、ブース出展ができて良かった。 ・スタンプラリーを導入したことですべてのブースを回っていただけた。 ・コラボ出展はとて面白い機会だったと思います。
課題・改善策	広報の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・今回はイベント関係者によるブース見学が主となっていましたが、次回以降は一般（地域住民）の方にも興味を持って参加して頂けるイベントとなれば良いかと思えます。 ・短い期間でイベントがしっかり形になるように躍起になっていましたが、もっと来場者が集まる様なアプローチの仕方を各団体・企業で知恵を出し合って協議できていれば良かったなあと、イベントが終わった後に少し後悔しました。 ・イベントの広報・宣伝活動について企業側では担当者レベルで限界があるためもう少し県や市からの広報の動きがあれば内輪以外の参加が増えてより良いイベントになったかなと感じております。
	会場の大きさの改善	<ul style="list-style-type: none"> ・（各部屋ごとに仕切られていたため）会場の一体感が弱かった。 ・部屋が少しせまかったこと⇒体育館的な場所でも面白いかもかもしれません。 ・会場は動線が十分に確保できる広さが望ましいと思えます。今回の会場は狭く個室（各会議室）だったので、出来れば全体も見渡せる広い会場が望ましいと思えます。

提案	今後イベントをする際の提案	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントに来場してくれた子どもに、イベントの満足度や意見を聞くアンケートを実施してみると良いかと思います。弊社以外も何かしらのフィードバックがほしいかと思います。 ・団体・企業と合同でブース出展しましたが、今回交流のあった学校や共同施設の子どもたちと一緒に何かブース出展等の取組をしてみたいです。以前私が、現場見学を受け入れた小学校の校長先生から『子どもにSDGsについて学ばせたいが、教員に知識がない。年間の予定で手一杯のため、教育をする時間がなく、企業が担ってくれると助かる。』という要望をいただきましたが、我々企業側が教えた内容と、子どもが学びたい内容にズレがあるのではと考えた事があります。子どもと会話して企業が強みを生かした内容で何か一緒に取組を実施すれば、面白い化学反応が起きると思いますし、学校側のニーズが掴める事が大きいです。また、その時の経験から、将来その企業を目指してくれるかもしれないという企業側のメリットもあると思います。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習のイベントには初めて参加させていただきましたが、多くのお子さんや保護者の方々、学校の先生方にお越しいただいて、環境への関心の高さに改めて感心いたしました。 ・来場者の方が、ワークショップや展示スペースを楽しんでおられ環境について、身近に考える良い機会になったのではないかと思います。

2) 今後、企業版森の会議に期待すること

企業版森の会議に参加の企業から、フォーラムを終えて、今後、企業版森の会議に期待することについてご意見をいただきました。

イベント会場の大きさの改善、行政・企業・団体・住民の連携の輪を広げる、広報の強化

	意見・感想
イベント会場の大きさの改善	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のような展示会を開催する事があるようであれば、もう少し展示室を広く取って頂けると、来場者が集中した際も動線がスムーズかと思いました。
行政・企業・団体・住民の連携の輪を広げる	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のイベントでも、複数の企業で連携した取組を実施できましたが、今後は更に交流を深めながら環境学習や地域活性化と一緒に活動できれば良いと考えます。今後はお取引企業や地域にお住まいの方にも参加いただける一般参加型の活動を増やしていければ良いと思います。 ・当社のビオトープエリアでの環境学習の有効活用方法について一緒にアイデアを考えて頂いたりつなげて頂けると嬉しく思います。当社は社員数が少なく私だけでできることが限られている為、サポート頂けると大変助かります・・・。 ・せっかく生まれた縁なので、今回のイベントだけでなく、また違った形でのコラボレーションが実施できれば、尼崎の団体・企業の輪が広がると思うので、そういった内容の会話ができる場があるといいなと思います。 ・これからも、行政・企業・団体は勿論、地域の方も含め一丸となり社会全体で地球環境改善の取組が出来れば良いと共にこの場が、次世代に繋がる社会の仕組みの一部になる事を期待します。 ・企業間同士のつながりが生まれ、尼崎地域が盛り上がること ・行政との連携の場を増やす
広報の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを通じて、尼崎の森の認知度が向上し、人が集まり、資金が集まる事で、より一層大きなイベントが実施できる事を期待します。 ・「企業版森の会議」を通じて、尼崎の森及び参画企業のブランディング向上を期待します。 ・地域密着型の素晴らしいイベントなので、協賛企業が増える様、今回実施したイベントを広く伝えていただければと思います。実績を伝える事で協賛いただける企業が増えるのでは?? ・21世紀の森構想と尼崎の森中央緑地についてもっと広く多くの方に認知していただける取組みが企業版森の会議から生まれることを期待します。どんなに良い取組みをしていてもこの件に関しては多くの方に認知してもらい広がっていかねば極論意味がないと思います。その意味でSNSやその他の広報戦略も同時に考えても良いのではと考えます。 ・もっと企業をPRできる場を広げてほしいと思います。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・皆さんの多様なアイデアや活動に触れることができることを期待しています。